

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
370冊(248人)10/13 現在
文責 校長 宮脇 真一

秋休みを終え、後期が始まりました。前期の終業式で約束した通り、初日の登校時に正門に立っていたところ、4月からこれまでの中で、いちばんさわやかに挨拶が返ってきました。やる気の表れ、終業式で話した「自分ごと」としての思いが、その姿から感じられました。

先週末、熊本県のリスクレベルは「1」に修正されました。感染対策を徹底することには変わりはありませんが、6年生の修学旅行をはじめ、校外学習が予定されている学年にとっては追い風の状況です。



児童会から「あいさつ運動」の相談
(令和4年10月6日撮影)

～自分の限界を広げる～ 始業式にて

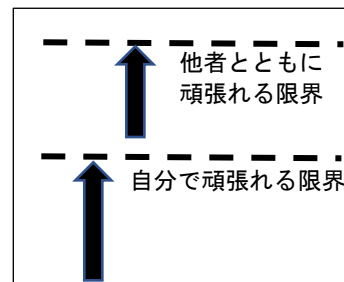
(昨日の始業式にて児童に話した内容の概略は次の通りです)

1 「大津町三つの約束」の確認

あいさつをする → 今日の挨拶はさわやかでした。

時間を守る → 時間を意識しよう。相手を待たせることは相手を大事にしないことにつながります。

人の話を聴く → これは、4月から言い続けていること。発表が得意になったという人がいる学級は、聴き方が上手な学級です。



限界を広げる
佐藤(2004)をもとに宮脇改作

2 「自分の限界を広げる」こと

- 東京ヤクルトスワローズ、村上選手の号外記事をもとに。
努力の積み重ねの尊さ、仲間とともに力を磨く素晴らしさ。

- 「自分の限界を広げる」ために必要なこと（右上の図をもとに）

物事には「自分の力で頑張れる限界」と「他者とともに頑張れる限界」があるとのこと。発表の上達は、聴いてくれる仲間がいるという安心感に支えられます。そんな学びをそれぞれの教室で展開してほしい。2月9日にたくさんの先生方を迎えて、授業を公開します。

今回は少し長めの話でしたが、最後まで頑張って聴いてくれました。

入賞おめでとう！

※菊池郡市科学研究物・発明工夫展示会
金賞 6年 重光 咲希さん
(銀賞、銅賞 多数)

※「歯と口の健康週間」図画の部
熊本県教育委員会賞 1年 高田采奈さん

※「土木の日」絵画写真コンクール
絵画の部 銅賞 5年 森ひよりさん

後期から佐賀文男先生をお迎えしました。佐賀先生はこの3月まで大津小学校でご勤務いただいていたので、半年ぶりの大津小学校です。



主に4年生の算数を担当いただく予定です。 佐賀文男先生